

2017.6.28 Richesse

リシェス | ラグジュアリーを極めたハイライフマガジン
FG MOOK

Richesse

No. 20
SUMMER
ISSUE

創刊5周年
記念号

これからの豊かさを求めて北欧へ
幸福の王国、
デンマーク

FASHION
憩う日のミュールとサンダル

JEWELRY
夏に映える最新ハイジュエリー

BEAUTY
リシェス世代こそ、ボディ最優先

TRAVEL
坂東玉三郎さんが訪ねるローマ

INTERVIEW
ラグジュアリーの未来を考える



世界でいちばん美味しい“食の都”のいま

T O K Y O

贅沢グルメ

ミシュランガイド東京
三つ星10年シェフが総登場
注目の天ぷら
ヌーヴェルヴァーグ

夏のきもので
東京グルメクルーズ
食通アンケートに見る
人気レストラン101

RICHESSSE CONCIERGE 【05】

ART

Text: RICA OGURA Realization: KAZUHIRO NONAKA

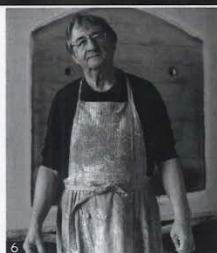
伝統技術にモダンな息吹を。

フランスの匠が美を競う



フランス人間国宝展

会場／東京国立博物館 表慶館
会期／2017年9月12日～
11月26日 tel.03-5777-8600
開館時間／9時～17時（金・土曜、11月2日
～21時、9月17日・18日・24日
～18時、9月22日・23日～22時）
入館は閉館30分前まで
※月曜（9月18日、10月9日は
閉館、9月19日は休館）
<http://www.fr-treasures.jp/>



1. 6 曜変天目を研究する陶芸作家ジャン・ジレル氏とその作品。
2 羽根細工作家ネリー・ソニエ氏。
3 銅板彫刻作家ファニー・ブーシェ氏。
4 ベッコウ細工職人クリスティアン・ボネ氏。
5 次期メートル・ダール候補、壁紙作家フランソワ・グザヴィエ・リシャル氏。



メートル・ダールと呼ばれる、フランスの人間国宝制度があるのをご存じでしょうか。日本の重要無形文化財認定制度（通称人間国宝）にない、1994年に誕生。フランス文化・通信省により伝統工芸の最高技能者に授与される称号で、ユネスコにも登録されています。

2016年時点で認定者は124名。分野は金銀細工や羽根細工など多岐にわたります。広く知られているのはケリーバッグを手がけた革細工職人セルジュ・アモルソ氏や、イヴ・サンローラン愛用のメガネを作ったベッコウ細工作家クリスティアン・ボネ氏。彼らの顧客の多くは世界の王族貴族です。選定基準は、15年間、現職に従事していること。技術革新や新しい表現に挑戦し続けていることが必須。また、認定後には3年間、最低1人の後継者を迎えることが義務づけられます。いわば、メートル・ダールは過去の功績への賞賛ではなく、未来を見据えた制度なのです。

その稀有なる職人技を一堂に集めた海外初の展覧会がこの秋、東京で開催されます。展示品の7割以上は15名の職人がこの会のために製作した新作となり、巡回展として日本から世界に巡回する予定です。展覧会のキュレーションを務めたエレーヌ・ケルマシユテル氏はこう語ります。

「この展覧会は、人間国宝の原点である日本への贈り物。伝統工芸に人生を捧げている、偉大な人物の美学をぜひ感じてほしいと思います」

©Photos: Philippe Courcel